

加瀬沼公園整備事業に係る追加説明資料

1 加瀬沼の水質状況（S56～H19）

前回評価（H15年度）資料のS57～H3年のCOD測定値（年平均値）について、再確認したところBOD年間平均値であることが判明。正規のCOD測定値に置き換えCOD測定値の経年変化を見ると悪化傾向ではなく、横ばい若しくは若干の改善傾向と見れる。

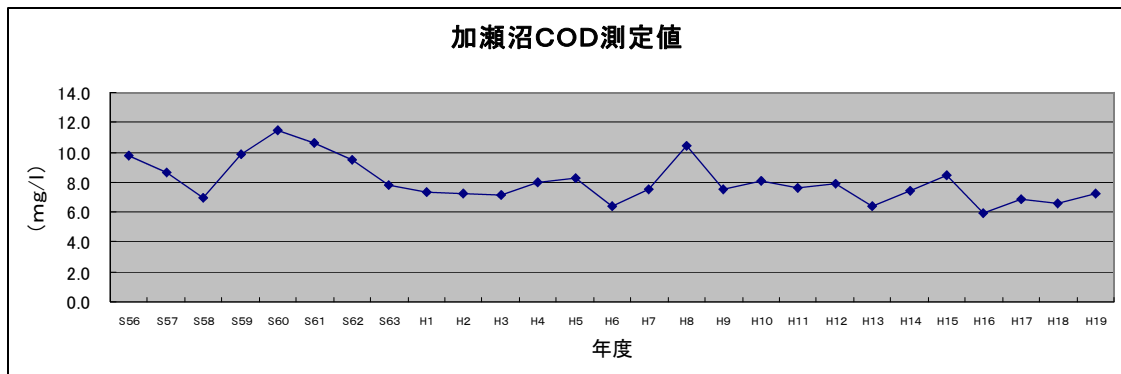
公共用水域水質測定結果表より（宮城県環境対策課）

年度	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5
COD測定値(年平均値)mg/l													
H15資料	9.8	3.2	3.1	4.2	3.9	3.9	3.8	2.8	3.3	3.2	3.2	8.0	8.3
今回修正値	9.8	8.6	7.0	9.9	11.5	10.6	9.5	7.8	7.3	7.2	7.1	8.0	8.3

H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
6.4	7.5	10.4	7.5	8.1	7.6	7.9	6.4	7.4	8.5	5.9	6.9	6.6	
6.4	7.5	10.4	7.5	8.1	7.6	7.9	6.4	7.4	8.5	5.9	6.9	6.6	7.2

注1) H15資料のS57からH3までの測定値は、BOD年間平均値。

注2) H19測定値は、速報値。



2 平成16年度以降の対応状況

1) 宮城県環境対策課による毎年6回の水質検査による経年変化の把握

2) 多賀城市市民経済部農政課と農協による水質改善対策

EM菌培養液による浄化対策（H15～H17）

3) 民間業者による水質浄化対策の検討

H18年12月民間業者より水質浄化の試験施工の提案があったが、現地調査の結果それほど水質は悪くないとの理由で中止。

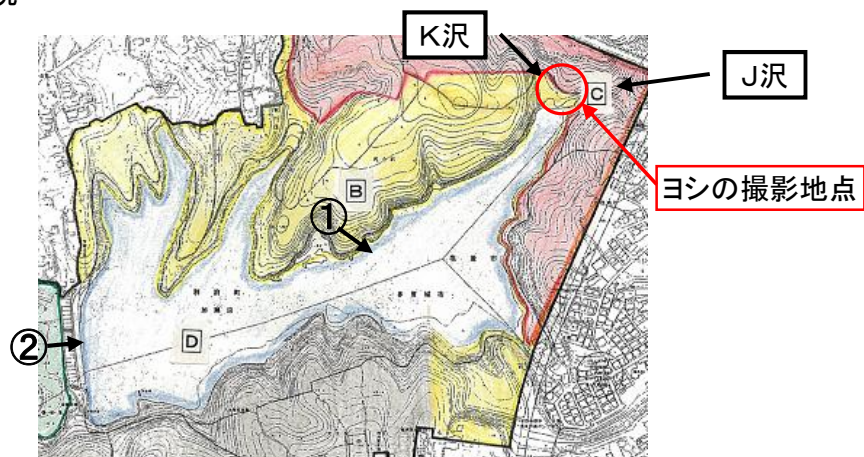
4) NPO法人による水質検査

H19年2月NPO法人（東北大学教授）へ依頼し、水質検査を実施
「流入水中のNが高いものの極端にPが低い。沼水も同様である。そのために微生物の増殖が制限されている。今後もPの流入、流出を抑えることが必要」

5) 底土の土質調査

H20年9月に底土の土質調査を実施予定。

3 沢水の流入部の状況



○J及びK沢の合流地点から沼側には、ヨシが群生している。(H20. 7. 15撮影)



4 沼面の状況

○沼面が緑色に覆われるが水草である。



① H20. 7. 15 撮影

